

4号機廃棄状況を報告 保管992台まで処分進む

第67回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）が1月29日、日遊協本部会議室で開かれた。日電協と回胴遊商が協力して行ったパチスロ4号機の保管状況等について報告があった。調査は2011年3月時点、

1年後の昨年3月時点、同年12月時点の3回行われ、廃棄処分の進み具合を追った。11年3月時点での4号機保管台数は4111台（回胴遊商組合員352台、運送業者等1166台、ホール922台、リサイクル業者等1671台）あったが、

昨年3月時点では1518台（回胴遊商組合員114台、運送業者等1045台、ホール231台、リサイクル業者等128台）に減った。さらに昨年12月時点では全体で992台になり、11年3月時点の76%が廃棄処分されていた。この中では運送業者等が519台に落ちたが、その他の台数は変わらなかった。変わらなかったうち、回胴遊商組合員の114台は社員研

修用に使われたり、コレクションとして企業のショールームなどに飾られている機械でこれ以上は減らない。残りの878台についてさらに買い取り等を進めて、減らして行きたいとしている。

これに関連し、4号機等がネットオークションで売られて闇スロ等で悪用されている問題で、ネット販売会社に4号機のWEB上での掲載をやめるよう協力を要請していくことを決めた。

健全化推進機構検査

10月12月に566店

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（河上和雄代表理事）は1月21日、平成24年度第3四半期（昨年10～12月）検査部活動結果を公表した。検査ホールは全国38都府県方面566ホール（うち計数機検査96ホール）で、遊技機6904台（パチンコ3295台、回胴式3609台）、計数機156台（玉87台、メダル69台）、計7060台を検査した。

4号機の保管・廃棄状況を協議したセキュリティ対策委員会



24年度9か月間の累計の検査実績は、1832ホール（うち計数機506ホール）、遊技機1万3407台（パチンコ6445台、回胴式6962台）、計数機833台（玉433台、メダル400台）だった。

ゴト対策4団体会議

情報の交換と要請

ゴト対策に関する4団体会議が1月28日、東京市ヶ谷の遊技会館で開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協から幹部、技術関係者など33人が出席した。最近のパチンコ・パチスロに対するさまざまなゴトの具体的な情報報告、それに關する意見交換が行われた。ゴトの分析から、団体間の情報の

在り方、それぞれの要請などが話し合われた。

ファン雑誌連絡会

(株)ガイドワークス入会

パチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会（事務局・日電協内）は1月30日、日遊協本部で会合を開き、2月1日付けで(株)ガイドワークスの入会を承認した。これ連絡会の構成は7社となった。

連絡会は攻略法販売会社の広告を掲載しないファン雑誌が、セキュリティ対策委員会の協力で2010年5月に結成し、約1年間キヤンペーンを展開、その後も攻略法詐欺撲滅の記事を掲載してきた。

このうちの1社、(株)白夜書房が、子会社の社長らが常習賭博容疑などで逮捕されたことで、昨年2月自主退会した。その後、事件に関わらなかった同社の社員たちが新たにファン雑誌「ガイドワークス」を立ち上げ、業界健全化への取組、攻略法詐欺撲滅の活動を通して連絡会に入会したいと申請した。これを受けてセキュリティ対策委員会では、他の雑誌社の反対がなければ入会を了承することを申し合わせていた。

パチンコ・パチスロ産業21世紀会

RSN支援方法を見直し 消費税対策で新たな覚書

関連14団体で構成するパチンコ・パチスロ産業21世紀会が1月29日、東京の新橋第一ホテル開かれ、全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会、補給組合、メダル工業会、同友会、余暇進、PCSA、認証協、PSAの代表、幹部51人が参加し、リカバリーサポートネットワーク(RSN)への支援体制などについて協議した。

RSNは支援体制の見直しについてすでに要請していたが、西村直之代表理事が改めて「21世紀会との業務契約は消費税などが発生するので、それが発生しない寄付助成金、会費による支援にも広げて各団体と個別に協定していきたい」と説明した。

21世紀会は新たに「ぱちんこ依存問題対策に関する覚書」を作成して対応することを決めた。内容は、支援の種類を①寄付、助成、②RSNの会員規定に則った会費の納入、③業務委託契約、とし各団体が個別に支援契約を結ぶとい

うもので、RSNの要望にこたえている。今後事務局が文章的に精査



冒頭にあいさつする21世紀会代表・青松英和全日遊連理事長

して、21世紀会の承認を受ける。21世紀会は臨時の場合を除き、14団体賀詞交歓会の前に毎年定期的に開くことも決めた。

中古機流通協議会

日工組、不正改造報告

年末パチンコ稼働前年並み

中古機流通協議会(委員長・阿部恭久全日遊連副理事長)は1月28日、全日遊連会議室で開かれた。昨年11、12月の中古用、認定用の確認証紙発給状況が報告された。パチンコの中古用稼働実績は、11月が5万1441件(対前年比102%)、10万5234台(同106%)、12月が5万4457件(同99%)、10万9021台(同101%)だった。販売対チェン店移動の比率は11月が53%対47%、12月が55%対45%だった。一方、認定申請は11月が2983件2万1492台、12月が1544件4271台。

回胴式の中古用稼働実績は、11月が1万9949件(同117%)、4万2097台(同115%)、12月が1万8811件(同98%)、3万7753台(同96%)だった。販売対チェン店移動の比率は11月が52%対48%、12月が49%対51%だった。一方、

認定申請は11月が924件3376台、12月が1488件1万233台だった。

日工組は前回の委員会(昨年12月3日)で、目視点検では発見が困難な主基板の不正改造事例が判明したことを報告したが、この日の委員会での事例を具体的に発表した。不正改造が判明した機種はニューギン製の「CR花の慶次」L2IVX」2台(都内のホール)、サシセイR&D製の「CR牙狼魔戒閃騎鋼XX」1台(神奈川県内のホール)。いずれも主基板の正規のCPUの下側に別のCPUを搭載した回路が取り付けられていた。別のCPUの動作内容は、いまのところ不明となっている。稼働状況を不審に感じたホールの自主点検やメーカーの調査で判明した。判明したのは昨年5、6月だが、その後同事例の訴えは出ていない。

3台とも中古移動歴がないところから内部の手引きによる犯行の可能性が強く、ホール側は管理の徹底を図ることになった。中古機には事例が出ていないが、中古移動中でも考えられる犯行として、販社側にもチェック体制の強化を呼びかける。

省エネルギーセンター会長賞

(株)マルハンが受賞

評価された
多角的展開

(株)マルハン(韓裕社長)が平成24年度省エネ大賞(一般財団法人省エネルギーセンター主催・経済産業省後援)で省エネルギーセンター会長賞(省エネ事例部門)を受賞、1月30日、東京ビッグサイトで行われた省エネ大賞表彰式で表彰された。

同社は省エネ活動の5カ年ビジョンを立て、2008年から仙台・泉店などモデル4店舗にデマンド監視システムを導入、「見える化」による従業員の意識改革を行った。翌09年、モデル店舗の成功事例から効果の高い取り組みをマニュアル化して全国展開するとともに、各店舗でも個別の管理標準「Eco

省エネルギーセンター会長賞を受賞したマルハン。
左・三上秀樹執行役員購買部部長(1月30日、東京ビッグサイト)



写真提供・(株)マルハン

店舗マニュアル」を作成し、省エネ活動の土台を整えた。10年から照明のLED化、室外機散水システム等の設備投資と検証を行い、効果の高い取り組みを標準設備としてきた。

省エネ大賞は、東和産業(株)が平成23年度資源エネルギー庁長官賞(省エネ事例部門)で昨年2月に表彰されており、遊技産業界では2年連続表彰となった。

リサイクル推進委員会

要綱・基準の改正案提出

第62回遊技機リサイクル推進委員会(座長・篠原弘志日遊協専務理事)は1月21日、日工組会議室で開かれた。関係規程整備の方針に基づき、遊技機リサイクル業者選定要綱と遊技機リサイクル業者の選定基準の各改正案(たたき台)が事務局から提案された。選定要綱、選定基準とも1998年に制定され、09年までに3、4回改正されているが、現在も現地実査等を行う中で不備が見つかっており、昨年11月

の委員会で改正を確認していた。

たたき台のうち、選定要綱の関係では「第3申請」「第5審査及び選定等」「第6報告等の要請」「第7取り消し等」等のいくつかの項目で改正と新設があり、具体的には「申請時の誓約書提出」「リサイクル選定証交付」が提案されている。また、選定基準の関係では「1業者の信頼性」「9管理体制」の各本文の改正が提案されている。たたき台は各団体が持ち帰って協議することになった。

遊技機リサイクル選定業者は、1社が破産により選定業者取り消しとなり、1月21日現在39社となったことが報告された。

不正対策室会議

昨年は一般ファンから6707件の情報

不正対策室会議(室長・伊東慎吾日遊協常務理事)は1月22日、日遊協本部会議室で開かれPSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、委員15人がゴト・不正情報について検討した。

12月のPISOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は、業界から21件、一般フ

アンから453件の入力があった。一般ファンの入力力は昨年9月に300件台に落ちたが、その後3か月は450件を超えている。昨年1年間の一般ファンからの入力情報は6707件で一昨年の8407件に比べ1700件減っている。昨年は、正規の基板に発見しにくい不正基板をかませるなど高度なゴトも出てきたが、この場合内部の人間がからむ可能性もあり、従業員の採用、教育に十分心配りをする必要があるとしている。

インターネット広告協議会

チラシ徐々に伸びる 12月は3千枚超える

パチンコインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷(株)、IMC(株)で構成)が1月18日、日遊協本部会議室で開かれた。「パチンコのチラシ」Powered by Shutool」の10~12月度分の掲載枚数が報告された。10月2534枚、11月2626枚、12月3039枚で、徐々に伸びる傾向にある。1か月で3000枚を超えたのははじめて。

11、12月の校閲NGが報告された。警告172件で、このうち再入稿154件、キャンセル18件となっている。

昨年10～12月期 エンビズ総研発表

「小規模」が業況最悪 客数減少的にも

（株）エンタテインメントビジネス

総研はこのほど、昨年10～12月期

の第51回パチンコ景気動向指数（D

I）調査報告をまとめた。収益・

売上げ・粗利といった全般的な業

況は、前の3期（1～9月）がマイ

ナス24ポイント前後の横ばいで推

移していたのに対し、10～12月期

はマイナス48・6ポイントと大幅

に落ち込んだ。10～12月期は過去

にも同様に落ち込む（2010年マ

イナス51・7ポイント、11年同48

・5ポイント）など季節変動が見

られ、景気の底打ちと底ばい両方

の可能性が出てきた。また、「悪い」

と判断した理由として、9割以上

が「来店客数の減少」を挙げた。

規模別にみると、大規模事業者

（11店舗以上）がマイナス51・7

ポイント、中規模事業者（4～10

店舗）がマイナス34・6ポイント

なのに対し、小規模事業者（1～

3店舗）はマイナス64・7ポイン

と過去5年間で最悪を記録した。

このまま大規模、中規模との格差

が続けば、廃業や店舗売却、統合
が一層進むと思われる。

4円貸玉は最低値に

稼働状況では、パチンコが大き
く悪化し、マイナス61・1ポイン
トと過去5年間で最低となった。

図1 稼働状況（パチンコ・パチスロ別）

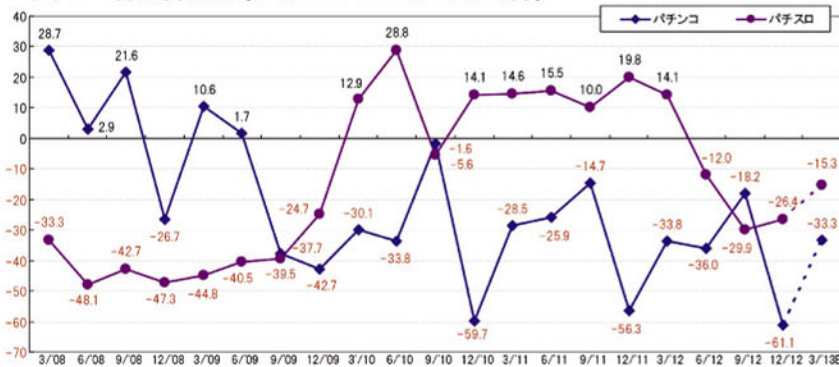
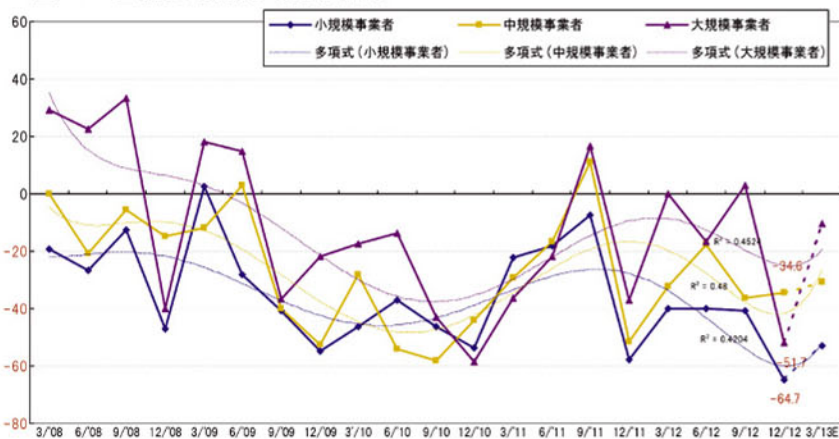


図2 全般的業況（規模別）



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 第51回パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

パチンコは全般的な業況と同様、
年間を通じて10～12月期に落ち込
むという季節変動を示している。
一方、パチスロはマイナス26・4
ポイントと前期より約3ポイント
上向いたが、3期連続してマイナ
ス圏にある。

稼働状況を貸玉料金別にみると、
4円貸玉はマイナス73・2ポイン
トで、09年以降の最低値となり、
回復の兆しは見えない。前期まで
プラス圏にいた低価貸玉もマイナ

ス1・4ポイントと、わずかにマ
イナス圏に落ちた。今回から貸メ
ダル料金別の調査も始めたが、低
価メダルがマイナス4・9ポイン
トなのに対して20円メダルはマイ
ナス38ポイントと、パチンコほど
ではないが稼働格差が開いている。

低価メダル併設が過半数

今回とくに、各企業の代表的な
店舗における低価メダルの導入状
況を調べた。「20円メダルと低価
メダルの併設」が61・8%と過半数
を占め、「20円メダルのみ」が25・
5%、「低価メダルのみ」は10・9
%だった。低価メダルの料金(複數
回答)では、「5円」が90%を占めた。
「10円」は20%、その他(「2円」
「6・25円」等)が12・5%となっ
ている。「20円メダルのみ」の店舗
に低価メダル導入の意向を聞いた
ところ、「導入するつもりはない」
「導入を検討中」が半々だった。

規模別に見た経営上の課題では、
小規模事業者は「他店との競争激
化」「メーカーの遊技機販売の縛
り」、中規模事業者は「他店との
競争激化」「人材育成・教育」、
大規模事業者は「人材育成・教育」
をそれぞれ重要課題に挙げた。

九州支部ボランティア クリーン・デーに参加

九州支部は1月9日、支部ボランティア活動の一環として「クリーン・デー清掃活動」に参加した。この取り組みは、「パチンコが日本をきれいにします。まずは九州から」とし、毎月9日を「クリーン・デー」に設定して、各店舗が周辺地域の清掃を行うものである。支部からは、(株)玉屋、三宝商事(株)など多くのホールが参加した。



福岡市博多区中洲周辺での活動

九州支部「オープン執行会」 27人参加で意見交換

九州支部は1月23日、福岡県遊技会館で「オープン執行会」を開き、樋口益次郎支部長以下役員12人、支部会員など15人の27人が参加した。「オープン執行会」の開催は2回目で、役員会を拡大し、業界が抱える問題を会員も交えて意見交換するもの。支部総会、地域清掃などの貢献活動支部の課題などについて率直な意見が出され、会議のあと新年祝賀

会を開き、来賓も合流して懇親を深めた。

中部支部新年祝賀会 30人がなごやかに

中部支部は1月8日、名古屋市中区名古屋ガーデンパレスで新年祝賀会を開き、山口悟支部長以下会員、来賓を含めて30人が出席した。山口支部長は「未だ復興がならない東北被災地支援を続けるとともに、パチンコ営業の健全化を積極的に進めていかなければならない」とあいさつした。来賓の深谷友尋会長は「業界は低迷を極めている。遊技の構造を抜本的に変えていかなければ、生き残れない。スクラムを組んで一緒にがんばりましょう」とお祝いの気持ちを述べた。小野金夫支部相談役、愛遊協・森山定幸理事長、同・永井賢二専務理事の祝辞のあと、懇親会に入りなごやかな時間を過ごした。また、新会員として、夢コーポレーション(株)の加藤英則代表取締役社長が紹介された。

会員消息・新規入会

1月17日の第5回定例理事会で、賛助会員1社の入会が承認された。

●新規入会(賛助会員)

▼株式会社マティーン二
代表取締役・武藤猛

群馬県高崎市山名町797-5

ホールの床製品、内外装、オンデマンド印刷業等を営んでいる。1993年設立。資本金2000万円。

役員3人、従業員30人(ほかにアルバイト)。東京、大阪に2支店、埼

DATASPOOT

店舗は3年間で150減、208減、137減

全日遊連は1月25日、店舗数、遊技機台数の2012年12月分を発表した。店舗数は前月比で22店増えたが、1万1177の店舗数は、一昨年12月(1万1314店)と比べて、この1年間で137店の減少となった。平成21年の12月から年末の店舗数を調べると150店減、208店減とホール規模の縮小は続いている。

遊技機では、パチンコが前年同月比でマイナス5万7049台(一昨年12月286万1545台)と下がり続け、一方パチスロ機はプラス8万7827台(一昨年12月134万9015台)と上昇中だ。パチスロは前月比で1万5992台増と依然として伸びており、一昨年4月から21か月連続で前月比増を続けている。

<注>店舗数、および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,332	30	21	138 (11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,303	6	35	137 (14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451
3月	11,268	9	36	144 (23)	2,843,391	1,369,425	160	4,212,976
4月	11,269	29	38	134 (14)	2,838,019	1,385,142	160	4,223,321
5月	11,258	16	28	134 (12)	2,833,776	1,390,461	160	4,224,397
6月	11,227	11	34	138 (21)	2,825,019	1,395,141	160	4,220,320
7月	11,222	14	26	131 (12)	2,822,070	1,401,427	160	4,223,657
8月	11,227	26	21	132 (17)	2,817,356	1,410,362	160	4,227,878
9月	11,199	12	34	138 (16)	2,810,983	1,412,650	156	4,223,789
10月	11,167	14	35	149 (23)	2,798,701	1,412,852	156	4,211,709
11月	11,155	9	23	143 (6)	2,803,659	1,420,850	156	4,224,665
12月	11,177	31	31	132 (13)	2,804,496	1,436,842	156	4,241,494

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	236	+3
東北	527	+7
東京	547	+9
関東	1548	+36
中部	465	+12
近畿	846	+22
中国	281	+4
四国	142	0
九州	596	+6
全国計	5188	+99

(2012年12月31日現在)

玉・上尾、仙台、長野・上田に3営業所がある。(推薦人・日遊協専務理事 篠原弘志)

●代表者変更 ▼株式会社柏葉田中

代表取締役・三好政雪
2012年12月21日

安藤 利男氏(株式会社アスカ代表取締役会長)

昨年12月31日午後8時24分、病氣療養中に死去。86歳。日遊協副会長、安藤利彦氏(同社代表取締役社長)の父。告別式は1月16日、名古屋市中千種区、いちやなぎ中央斎場で執り行われた。喪主は長男、利彦氏。